

# 東京 B R T の計画

## 都心と臨海地域とを結ぶ B R T に関する事業計画（改定）の概要

- B R T は、臨海地域の交通需要の増加に速やかに対応し、地域の発展を支える公共交通機関として運行を計画
- 2016年4月に策定した事業計画を、周辺状況の変化を踏まえて2018年8月に改定

### 運行計画

2020年度	2021年度	2022年度以降
BRTプレ運行（地上部道路）※		BRT本格運行（本線トンネル）
<b>プレ運行（一次）（1系統）</b> 環状第2号線 地上部道路開通（2019年度末）後 東京2020大会前・期間中	<b>プレ運行（二次）（3系統）</b> 東京2020大会後	<b>本格運行（4系統）</b> 環状第2号線 本線トンネル開通（2022年度）後 選手村まちびらき後
<ul style="list-style-type: none"> <li>一次運行ルート（虎ノ門～晴海二丁目）</li> <li>幹線ルート（虎ノ門・東京駅～国際展示場駅・東京テレポート駅）</li> <li>晴海・豊洲ルート（虎ノ門～市場前駅）</li> <li>勝どきルート（新橋駅～勝どき）</li> <li>選手村ルート（新橋駅～晴海五丁目）</li> <li>検討路線</li> </ul>	<p>晴海二丁目～市場前駅は市場前駅付近に整備される交通広場の完成（2020年度内予定）の後に延伸</p>	
※停留施設、ルート名は仮称。ルートは概略を示す。 ※大会期間中の運行内容については、関係機関と調整中。		
京成バス株による運行	京成バス株と新会社の共同運行	新会社による運行

※BRTプレ運行…将来的なBRT本格運行への円滑な転換を図るとともに、臨海地域の需要増に対応するため、環状第2号線本線トンネル開通前から行う先行的な運行